

Press Release

報道関係各位

LPI-J No. 20150928

2015 年 9 月 28 日

## LPI-Japan が、OpenStack の技術者認定試験 (OPCEL 認定試験) の受験予約を開始 ～ クラウドシステムの構築、運用管理に必要なスキルと知識を認定 ～

IT プロフェッショナル認定機関として「LPIC」、「OSS-DB 技術者認定試験」、「HTML5 プロフェッショナル認定試験」、「ACCEL 認定試験」を実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン (以下:LPI-Japan、東京都港区、理事長 成井 弦、<http://lpi.or.jp>) は、2015 年 10 月 26 日 (月) より、『OPCEL 認定試験 (OpenStack の技術者認定試験) 』 (以下、本試験と略す (※1) の配信を開始いたします。

なお、受験予約 (※2) は、ピアソン VUE 社にて本日 9 月 28 日 (月) より受付開始となります。試験は CBT (コンピュータベースドテスト) 方式で、受験料は 30,000 円 (税抜) です。初年度の受験者数は 1,000 名、3 年目の受験者数は 5,000 名を目標としています。

LPI-Japan では本試験のリリースに先立ち 9 月 12 日から 14 日にかけてベータ試験 (※3) を実施し、日本からは 60 名もの技術者が参加しました。このベータ試験の結果は試験問題の妥当性や信頼性の検証のために活用され、本試験の作成に反映されます。



OpenStack (※4) は既にクラウド事業者など大規模なクラウドサービスを提供する企業で多くの実績があります。さらに近年は、この高機能なクラウド・管理ソフトウェアを自社のプライベートクラウドやハイブリッドクラウド基盤構築に採用する企業も増えています。

こうした OpenStack の活用領域の広がりや利用ユーザーの増加により、OpenStack を利用しクラウド環境を構築、運用管理できる確かなスキルを有したエンジニアの育成は、ユーザー企業はもとより IT 業界全体としても急務となっています。

そうした現状を鑑み LPI-Japan では、Linux、OSS-DB、HTML5、CloudStack の技術力の認定制度に加えて『OPCEL 認定試験 (OpenStack の技術者認定試験) 』を開発し、クラウド基盤を扱うプロフェッショナルの育成を支援していきます。

本試験は、LPI-Japan の理事企業である NEC、富士通、日立的の OpenStack に精通した技術者及び世界中の OpenStack の専門家の協力を得て市場分析・業務分析を行い、グローバルな体制で開発されました。本試験は特定のベンダーのディストリビューションに依存しない中立な試験です。それ故に OPCEL 認定資格は多くの企業が推進するクラウドの技術力の認定資格として IT エンジニアのスキルの向上に役立つだけでなく、技術力を担保する客観的基準としても活用できます。

本試験の対策教材として、『OPCEL 認定試験 対策教科書 (仮題) 著: 日本仮想化技術株式会社 (※5) 』が 10 月下旬に、『OpenStack 構築運用トレーニングテキスト -OPCEL 認定試験対応- (仮題) 著: ナレッジデザイン (※5) 』が 2016 年 2 月 29 日 (月) にリリース予定です。

なお LPI-Japan が提供する LPIC レベル 3 304 試験は全てのクラウド基盤の中核技術である仮想化や高可

用性等の技術力を認定する試験であり、本試験と補完関係にあります。

本試験の詳細は、後述の資格/試験体系をご参照ください。

## ●賛同文（企業名五十音順）

### ■エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 技術開発部

担当部長 逸見 彰一郎 氏

OpenStack は IaaS 基盤を統合的に管理するオープンソースソフトウェアとして、グローバルで注目を集めています。NTT コミュニケーションズは、コミュニティ活動を通じて OpenStack の普及・推進に努めており、またクラウドサービス「Cloud<sup>®</sup>」や現在開発を進めている「次世代クラウド基盤」において OpenStack の技術ノウハウを取り入れています。今回の「OpenStack 技術者向けの認定試験 “OPCEL 認定試験”」の開始は、OpenStack に関わる IT エンジニアの育成やスキル向上、また柔軟かつ信頼性の高いグローバルクラウドサービス提供に役立つと考えています。

### ■クラウド利用促進機構 総合アドバイザー 林 雅之 氏

OpenStack は、日本においても企業ユーザーのプライベートクラウド基盤や、事業者のパブリッククラウドサービスなど広く採用されており、世界中の IT エンジニアに支えられています。「OPCEL 認定試験（OpenStack の技術者認定試験）」の配信開始により、OpenStack 関連業務に関わる多くの IT エンジニアの育成やスキル向上につながると確信しています。本認定試験が日本国内の企業や大学などだけでなく、アジアなどの海外に広く採用されていくことを期待しています。

### ■日本電気株式会社 クラウドプラットフォーム事業部

主席技術主幹 [OSS 推進センター] 高橋 千恵子 氏

日本電気株式会社（NEC）はこの度の LPI-Japan による「OpenStack の技術者認定試験（OPCEL 認定試験）」の提供開始をこころより歓迎いたします。OpenStack はクラウド基盤を構成するソフトウェアとしてデファクトスタンダードになりつつあります。NEC は 2011 年 OpenStack コミュニティに参画、2012 年 OpenStack Foundation に参画、そして 2014 年 OpenStack を活用したクラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」の提供を開始し、OpenStack の取り組みに力をいれてきています。海外はもちろん、国内の事例も増えつつある昨今、OpenStack を活用できる人材の育成が急務となってきています。このタイミングでの本認定試験は大変有効なものとなることはまちがいありません。今後も OpenStack の利活用推進とともに、本認定試験の国内での普及、およびグローバルでの普及に、大いに期待しております。

### ■株式会社日立製作所 IT プラットフォーム事業本部 プロダクト統括本部 ソフトウェア生産技術部

橋本 尚 氏

日立製作所は、LPI-Japan 様が OpenStack の新試験制度を開始されることを歓迎します。クラウド関連の技術が広がり、さまざまな分野へ応用を広げようとしています。そのような中で、基本技術とも言える OpenStack を習得し、活用できる技術者が求められていきます。技術者の育成の一環として、技術力の認定を行うことは、技術者、企業双方にとって、有益なことと考えます。その意味で、「OPCEL 認定試験」が、技術者育成・普及促進に大きな役割をになうと確信しています。

■富士通株式会社 プラットフォームソフトウェア事業本部 Linux 開発統括部 サポート技術部  
シニアマネージャー 福地 正夫 氏

OpenStackはOSSのクラウド基盤として、導入コストや管理コストの低減、システムの柔軟性向上、安定性向上に期待が集まっています。また現在も OpenStack コミュニティにおいて、新機能開発が活発に行なわれており、今後ますます活用の方が広がっていくことが予測される技術です。

「OPCEL 認定試験」を通して、OpenStack を利用したクラウド環境の構築・保守・運用管理に必要な技術習得することで、クラウド基盤に関わる技術者が成長し、IT 業界の今後の発展に寄与するものと期待しております。

■ミラクル・リナックス株式会社

代表取締役社長 伊東 達雄 氏

ミラクル・リナックスは、この度のLPI-Japan様のOpenStackの技術者認定試験開始の発表を歓迎します。当社が活動を支援しているOSSコミュニティ『Project Hatohol』においても、OSS運用統合ソフト「Hatohol」にOpenStack環境との連携機能を実装しており、今後もより一層、OpenStackを採用する企業の増加と、クラウドの確かな技術力を有したエンジニアの需要が高まると予測しています。

「OPCEL 認定試験」は、OpenStack を利用しクラウド環境を構築、運用管理できる確かなスキルを持つエンジニアの育成を促進するものとして、大いに期待しております。

===== OPCEL 認定試験 (OpenStack の技術者認定試験) の資格/試験体系 =====

■試験概要

本試験はOpenStackに関する専門知識や構築、運用管理のスキルを認定する試験です。

本試験に合格したエンジニア (OPCEL 認定プロフェッショナル) は、OpenStack 環境の構築・運用管理に必要な技術力を持ち、質の高いクラウドインフラを構築できるプロフェッショナルであることを証明できます。

■試験名 / 認定名 / 認定保有者名

OPCEL 認定試験 / OPCEL 認定資格 / OPCEL 認定プロフェッショナル

■公式 Web サイト

<https://opcel.org>

■受験料

30,000 円 (税抜)

■受験方法

CBT (コンピュータベーステスト) (※2)

■試験時間

90 分 (試験実施時間には試験説明・同意書サインなどを含む)

**■認定条件**

本試験に合格すること。

**■認定の有意性の期限**

3年間

**■推奨スキルレベル**

LPIC レベル 1 以上のスキルを保有していることを推奨。（前提保有資格はありません。）

**■対応 OpenStack バージョン**

Kilo

※ 本試験は対応バージョンとの特有な依存関係を最小限にしながらか認定試験としての有効性を維持できるように開発されていますので、OpenStack の新バージョンがリリースされても本認定資格の有意性は維持されます。

**■認定により証明されるスキルレベル**

下記の OpenStack を使用したシステムの構築、運用管理ができる技術力を証明します。

- ・ OpenStack 環境において、エンドユーザが必要とするインスタンス、アプリケーションおよびサービスの各種設定をすることができる。
- ・ OpenStack のコアサービスの構築および OpenStack 環境の運用管理を行うことができる。
- ・ 下記を実行できる。
  - \* 各種ストレージの設定
  - \* ネットワークの構築
  - \* 認証管理
  - \* ダッシュボードのカスタマイズ
  - \* 新規 VM イメージの作成および使用
  - \* 新規イメージの登録とカスタマイズ
  - \* 追加のブロックおよびオブジェクトストレージの事前準備
  - \* レポート用のテレメトリ情報の収集
  - \* ユーザ、テナント、その他のシステムリソースの管理

**■出題範囲**

本試験の出題範囲は OpenStack 環境を使いこなすためのスキル範囲を網羅しています。

主題	内容	重要度
OpenStack のアーキテクチャとデプロイメント	クラウドコンピューティングの概念	3
	OpenStack のアーキテクチャと設計	5
	OpenStack のインストレーションとデプロイメント	5
管理サービス	アイデンティティサービス、認証と認可 (Keystone)	6
	ダッシュボード (Horizon) と RESTful API	2
	テレメトリ (Ceilometer)	3
	オーケストレーション (Heat)	3
イメージとデータストレージ	イメージサービス (Glance)	5

	イメージの作成	4
	ブロックストレージ (Cinder)	5
	オブジェクトストレージ (Swift)	5
ネットワーキングとコンピューティング	ネットワーキングサービス (Neutron)	6
	コンピュータサービス (Nova)	6
	ベアメタルプロビジョニング (Ironic)	2

---

※1) OPCEL 認定試験 (OpenStack の技術者認定試験) について

詳細は公式 Web サイトをご参照ください。

<https://opcel.org>

---

※2) 受験方法について

- ・受験予約の方法に関しましては LPI-Japan ホームページの「受験のお申込み」をご参照ください。

<https://opcel.org/registration/>

- ・既に LPI-ID をお持ちの方は下記の試験代行会社よりお申込ください。

ピアソン VUE 社 [http://www.pearsonvue.com/japan/IT/opcel\\_index.html](http://www.pearsonvue.com/japan/IT/opcel_index.html)

---

※3) ベータ試験について

詳細は、<http://lpi.or.jp/news/event/page/openstack201509/> をご参照ください。

---

※4) OpenStack とは

OpenStack は、Rackspace Hosting と NASA によって開始されたオープンソースベースの IaaS クラウド基盤ソフトウェアプロジェクトです。現在は非営利団体の The OpenStack Foundation によって管理されており、その開発には世界中の 200 社を超える企業や開発者が参加しています。また Amazon EC2 や Amazon S3 と互換性に優れ、少ない手間で AWS のために書かれたクライアントアプリケーションを活用できるという特長を持ちます。

---

※5) 『OPCEL 認定試験 対策教科書 (仮題) 著：日本仮想化技術株式会社』と『OpenStack 構築運用トレーニングテキスト -OPCEL 認定試験対応- (仮題) 著：ナレッジデザイン』について

これらの教材は LPI-Japan の出版物ではありません。また、本教材で学習することにより合格を保證するものではありません。

---

●本リリースのお問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 担当：井戸田

TEL : 03-3568-4482、FAX: 03-3568-4483 / E-mail : [press@lpi.or.jp](mailto:press@lpi.or.jp)

---

LPI-Japan について

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及と IT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェアやクラウドソフトウェア、HTML5 のプロフェッショナルの認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、日本における IT プロフェッショナルの育成、さらには OSS/HTML5 に関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 ( <http://lpi.or.jp> )

法人名: 特定非営利活動法人 エルピーアイジャパン

所在地: 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 CR 神谷町ビル 7F

連絡先 TEL: 03-3568-4482、FAX: 03-3568-4483、e-mail: info@lpi.or.jp

設立: 2000 年 (平成 12 年) 7 月 28 日

業務内容: IT プロフェッショナルの認定活動と OSS/HTML5 の普及・推進

理事長: 成井 弦

理事: 鈴木 敦夫、高橋 千恵子、鈴木 友峰、橋本 尚、福地 正夫、中野 正彦、池田 秀一、丸茂 晴晃

監事: 寺本 振透

#####

<登録商標>

「Linux Professional Institute Japan」及び「LPI-Japan」は、

特定非営利活動法人エルピーアイジャパンの登録商標です。

Linux は Linus Torvalds の登録商標です。文中に記載されているその他すべての商標は、

それぞれの所有者に所有権が属しています。

#####